

社会問題化している竹。 その竹を主建材に利活用した画期的な家が船橋に誕生。

～千葉県産学金連携モデル「TAKE TORI HOUSE」は問題解決型の実証住宅～

株式会社アステップはサステイナブル素材である竹に特化し、多くのプロダクトを開発してきました。主に飲食・ホテル業界に高い実績があり、高度な製法を生かした家具ブランドも立上げています。今までの経験と技術を証明すべく 2026 年 3 月に社会実装の参考事例として 3 階建て住宅を竣工しました。このオール千葉プロジェクトは、地元建築家と工務店・大学・金融機関と足掛け 2 年かけた取り組みです。竹の可能性を一棟で体験できるプラットフォームで、屋内材料として店舗や宿の部屋内装・クリニック・保育幼稚園・公共施設への展開と応用範囲の広さを実感できる唯一無二の拠点となっています。



TAKE TORI HOUSE 外観

<TAKE TORI HOUSE とは>

一使用した竹建材の総重量 27t・竹炭 1.2t

建物全体で、開発した 25 種類の無垢建材 1,000 m²（重さ 27 t）が屋内材料として使用され、床下に 800 kg・屋根裏に 400 kg 格納された竹炭の調湿消臭効果が快適空間に生かされています。

<各階の特徴>

【1F】自然素材の魅力と意匠性の融合

竹林に佇んでいるような、圧巻の 10m 吹き抜け空間に月と太陽をイメージした照明。肥沃な大地を表現した茶色の燻フローリング、竹皮を編みこんだ網代が壁面を彩り、客人をもてなす三層板のカウンターのあるキッチンゾーン、随所に特殊加工のオブジェクトや繊細な職人技が光る建具が配置され、タイルやブロックとアクリル板を挟んだ階段材が二階へ導きます。



竹林を想わせる吹き抜け



太陽と月をイメージした照明



光が透ける階段



網代編みの壁



竹のブロックとタイル

【2F】自然竹と燻加工の色彩のコントラスト



秀吉×利休イメージの茶室



[2階ベランダ]竹の家具

特許製法や加工技術を示すプロダクトフロアとなっており、生み出してきた数多くの製品が並びます。

和室（茶室）では、畳のい草とイネ科植物である竹の融合により、醸し出す香りや質感が際立った、何とも心地の良い“竹の揺り籠”と云える空間になっています。床の間には銅板を巻き、意外性あるアクセントを加えることによって、より洗練された空間へと仕上げています。

また、東南側には広いデッキスペースで竹の色どりある家具が配置されています。

【3F】爽やかな天然竹の明るいスペース

日中は爽やかな風通りを感じ、夜は月を愛でる月見台に。
南側・西側で別素材を建材として配置、吹き抜けを上から覗ける
一間は設えも、居心地も空間も、全く異なります。竹板とタイルを壁面に設えたバスエリアも竹の新たな可能性を表現しています。



[3階]南側寝室



バスエリア

◆TAKE TORI HOUSE 概要

- 所在地：千葉県船橋市
京成松戸線「滝不動」駅徒歩1分
- 竣工：2026年3月
- 用途：本店・ショールーム
- 補足：敷地内駐車スペース5台

<会社 HP>



◆お問い合わせ先

株式会社アステップ 広報担当
TEL：047-464-2815
受付時間：平日 9:30～17:00（12:00～13:00 除く）
Mail：info@1963astep.com
HP：[株式会社アステップ](https://1963astep.com)
Instagram：[@take_tori_house]

<Instagram>

